



### 公園に隣接するやさしい病院

地下鉄日比谷線広尾駅から歩くこと約8分、有栖川宮記念公園の北側に見える明るいオレンジ色のレンガ貼りの建物が愛育病院です。

愛育病院は昭和9年3月13日、昭和天皇より皇太子殿下(現天皇陛下)御誕生を祝しての御下賜金をもとに、母子の保健と福祉の事業のために創立された恩賜財団母子愛育会が出发点で、その後母子愛育会の活動の一環として昭和13年12月13日に医療施設として開設されました。

設立から今日までに重ねられてきた長い歴史とは相反して、愛育病院はインフラと診療科目の両面において、時代の変化に即した柔軟な体制を備えた病院です。

まず正面の入り口で患者さんを出迎えてくれるのが華やかなフラワーアレンジメント。右手に続くロビーには明るいピンク色とラベンダー色のソファ。エレベーターで上の階にあがると、ピンク色を基調にした壁紙。そこに掛けられている絵画、医療器具の目隠しのための木目調の家具が、まるで自宅のリビングにいるかのような雰囲気を醸し出し、診察の順番を待つ患者さんの心もとなさを和らげてくれます。院内には英語の案内版もあり、外国人の患者さんにも優しい病院。その雰囲気を確固たるものとしているのが看護師さんをはじめとする職員の方々の温かい笑顔と挨拶です。

『自分が快適でない人に優しく接することはできない』という院長のお考えに基づき、職員の方が無理なく勤務できるようにと勤務体制にできる限りの配慮がなされているとのこと。その言葉を裏付けるように医師24名、看護職員117名(常勤)をはじめとした頼もしい診療体制が整っています。

家族に接するかのような温かい挨拶や適切な心配りから、職員の方々の診療・看護に向き合う真摯な姿勢と安心感が伝わってきます。

外国人の患者さんも多いとことで、自然分娩を基本としながらも和痛(麻酔)分娩の相談にものってもらえます。その他にも出産前のマタニティービクスから産後の新生児科・小児科・母子保健科など、出産から幼児期までお子さんの成長の過程をとともに見守ってくれる愛育病院の様々なバックアップ体制は、核家族化・少子化が進む都会の子育て事情の中でとても頼もしい相談相手であります。

出産・育児だけでなく人間ドック(女性のみ)も受診できるとのことです。



Maternal & Child Health Center AIKU HOSPITAL



## 愛育病院

総合母子保健センター



- 1 患者さんを温かく迎えてくれる1Fロビー
- 2 明るいレンガ色の外壁と周辺の樹木のコントラストが美しい
- 3 円形建物(昭和32-58年)
- 4 愛育研究所(昭和13年)
- 5 朝倉文夫作 母の群像
- 6 自宅の寝室のような病室
- 7 英語の案内もあります
- 8 衣服の着脱を配慮した診察室のドアは半円形
- 9 マタニティービクスで身心ともに健やかに
- 10 愛育病院の歴史が綴られている五十年史、七十年史

六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館のオープンで美術館を訪れる人が増加している六本木。アートの街として新たなまちづくりも進んでいる中、六本木通りを溜池方面にしばらく歩いたところに昭和初期より洋画の伝統的な額縁づくりをしている大江額縁店がある。大江洋一さん（76歳）は二代目。ずっとこの町を見続けてきた方だ。

# 麻布ひと



## 華やかな伝統工芸

生まれはここですよ。昭和8年です。子供の頃は（現六本木通りの）向こう側もこちら側も小さいお店がずっと並んでいた。刀屋さん、犬屋さん、鳥屋さん、喫茶店、下に行くと下駄屋さん、豆腐屋さん、ベッド屋さん、靴屋さん、ロシアの人が経営していたパーマメント屋さん。それから帽子屋さん。僕らはシャッポー屋さんと呼んで羽のついたずいぶん洒落たものが飾ってあって、そんな店がたくさんあったね。ハイカラな街でしたよ。銭湯もいくつもあってお墓のところにあった閻魔湯によく通ったね。網の中に大きな木彫りの閻魔様があってその隣が銭湯。お賽銭をあげる人なんかもいてね。銭湯の帰りは本屋に毎日寄っていた。本屋というのはその地域の文化みたいなもんだ。坂の上に一階が市場で二階が歌舞伎寄席という寄席のあるところがあったね。夜になると静かでこの市場の機械の音がコトコトとここまで聞こえてくるんだ。それが寝るのに具合がよくてね……。戦争中は3年間新潟の直江津に疎開して帰って来た時は全部焼けて何もなし。三河台公園や小学校のところの防空壕にずいぶん人が住んでいたね。僕が生まれた頃ここは市兵衛町。それがオリンピックの時に道が広がって三河台になった。大体昔は裏道が本道だった。溜池に紡績会社があってそこに通う女工さんが行ったり来たりするのはこの裏の道（三河台公園前から溜池方向に伸びる細い道）。商売は父がもう始めていました。父は芝にあった額縁作りを教えるところに通ってからこの六本木に店を構えたんです。僕が生まれる1年くらい前じゃないかなあ。ちょうど日本で洋画が盛んになってきた頃で新しい商売ですよ。

「自分で主張しなきゃいけないんです」  
大江額縁店 大江洋一さん（76）



明治時代を迎え欧米文化が日本に入ってきたが、その中には洋画（油絵）の技術もあった。同時に額縁も作られるようになり当時は画家の指示により指物師が木枠をつくり、仏師（仏像彫刻師）が彫刻し、塗師が漆塗り仕上げをしていた。専門の額縁師としては明治25年（1892）、当時塗師であった長尾健吉がフランス帰りの洋画家山本芳翠の勧めで、芝愛宕町に小工場を建てたのが最初だとされている。大江さんのお父様は芝で技術を習得され六本木で独立された。

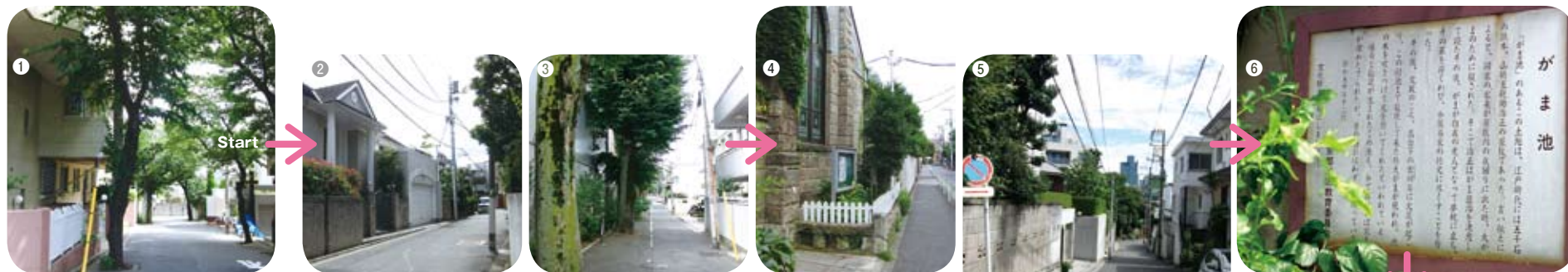
僕がちょうど仕事を始めた頃中野の水彩画の先生のところに展示会の手伝いに10日くらい通ったことがあったのね。その家のアトリエで高村光太郎が十和田湖にある乙女の像の彫刻を作っていたね。何回か声を掛けられた。仕事を始めたのは二十歳の頃かな。当時は習わしてくれて来た住込み職人が絶えず何人かいたからね。いつの間にか僕も弟子同士、いわゆる競争をするようになってきた。額縁というのはまず材木を削って形を作って組み立てる。それから材木を彫ったり、あるいは石膏型で飾り型を作ってそれを付けたり、そして下地を塗り、金箔を押ししたりして作るのだけど、僕らの頃からだんだんと木地は木地、彫りは彫り、塗りは塗りと得意に分かれ、流れ作業になってきた。有名な絵描きさんも当時はこの辺りにたくさん住んでいたよ。梅原龍三郎とか……。当時は絵描きさんのお手伝いのような仕事だったから。昔は画家の人から直接注文を受けて作るようなことも多くて、一度作ってそれが気に入るとそれからずっと同じものばかり注文がくるということもあった。その頃は絵描きさんとの関係も面白かった。

重厚で品格のある大江さんの額縁。この額縁に主張させない絵画とはかなりの作品でないか……

ところが高度成長、バブルの頃になると以前あまりなかった画廊というのが間に入るようになってそういう関係がなくなっちゃった。その頃は忙しいばかりだったねえ。お付き合いのあった画家の方たちは最近どんどん亡くなっていて寂しいですね。いつもこんな100号くらいのを作っていた方がいたのだけど、去年の日展に行ったら黒リボンが付いていて……。その方が最後みたいなんだ。地元の方は写真の額とか免状の額とか買

いにいらっしゃいますよ。そっちを伸ばさなきゃね（笑）。あと場所柄大使館の人達もよく来ますよ。車に国旗立てて来るのがずいぶんあったねえ。国の名前もその頃はよく知らなかったけれど。外国の人が来て「日本には額縁がない」なんて言われたくないからお店頑張っていた（笑）。美術展などには以前休みがあると年中行っていた。海外から来たものなどは気がつく額縁ばかり見てきたなんてこともあるね（笑）。だけど額縁っていうのは自分で主張しなきゃいけない。絵を引き立たせるものだから。自分で作ったものは展示会に行ってもわかるよ。日展百年展をデパートで見たときも「ああこれ見覚えがあるな」ってわかるもの。うん、気に入ってもらえてるんだって嬉しいですね。

大江さんから伺った昔の六本木の町の様子は頭の中をモノクロのシネマが流れるようなずいぶんと味のある興味深いお話が多かった。閻魔湯の閻魔様は今はどこにいらっしゃるのだろう。インタビューのとき部屋の隅でここにこと聞いていらした素敵な奥様は高校のお友達か日本画を描く絵描きさんで大江さんのお店で額縁を注文されていた縁でご結婚されたそう。ひとつとところで、ひとつのものに真剣に向き合っている方というのはこういう幸せも呼び込むのだろうか。一見すると大江さんが手にするものはそれ自体が芸術品のような重厚な額縁だが、「額装」という言葉があるように「絵画を装う」……大江さんのおっしゃった絵を引き立たせる絶妙なバランスが大切なまさに職人仕事なのである。



「都選定歴史的建造物」について  
 (東京都景観条例第22条)歴史的な価値を有する建造物(歴史的建造物)のうち、景観上重要であるとして東京都景観審議会の答申と所有者の同意を得て都が選定したもの(文化財を除く)  
 平成21年3月末日現在 73件を選定  
 詳しくは東京都都市整備局ホームページをご覧ください。  
[http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/kenchiku/keikan/machinami\\_09.html](http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/kenchiku/keikan/machinami_09.html)

## 静かな佇まいに異国の香り、下り坂を行く元麻布

今回は、前回紹介した有栖川宮記念公園から麻布運動場交差点を渡り、運動場を背に向けた筋を住宅街に進むところからお散歩のはじまりです。緑のアーチをくぐり、① 静かな住宅街に入ると車の通りも少なく、ベビーカーでもゆっくり散歩を楽しめます。突きあたりを右に曲がり、② 元麻布ヒルズフォレストタワー方面に進むと、「西町インターナショナルスクール本部館(旧松方正熊邸、現在改築中)」③ やその先にある「日本基督教団安藤記念教会会堂」④ 等、都の選定もうけている歴史的建造物等にたどり着きます。ここから一本松方面に坂道を下ってもいいのですが、今回は元の筋に戻り、突きあたりを左に曲がり② ゆるやかな下り坂を進みます。⑤ すると、道が折れるその角に、見逃してしまいそうな小さな看板。⑥ 十番稲荷神社「蛙の御守」にまつわる「がま池伝説」について書かれています。読めばしばしタイムトリップ、早く麻布十番まで行きたい気分になりますが、そろそろ遊びたくなる子ども

のために、下り坂途中の宮村児童遊園に寄りましょう。⑦ この公園は幅広の滑り台が人気、ネット内でのボール遊びもできるので、きょうだいでも楽しめます。公園から細い路地をさらにと下ると麻布十番商店街へと続きます。⑧ この一角には、インターナショナルスクールや大使館が点在しており、異国を感じる場面に多く遭遇します。⑨ また、10月ハロウィンの時期には落ち着きのあるこの住宅街が一転、華やかな装飾で飾られ、夜には仮装した子どもたちの賑やかな声であふれます。⑩ 似たような筋が多く坂道や階段もあるため、ベビーカーでの参加を考えているのなら、下見を兼ねて散策してみるのもいいかもしれませんね。



(取材・文/鈴木敏江)



警察官になってよかったこととは?  
 (左) 上妻巡査部長:  
 「『ご苦労さま』『ありがとうございました』という言葉もらったときです。苦しさや辛さがその一言で吹き飛びます。」  
 (右) 秋保巡査長:  
 「学校で交通ルールを説明した後、ルールを守ってくれている姿をみたときです。」

世の中にはいろいろな仕事があります  
**警視庁・警察官**

子どもに生きていく力を

親子で  
 読んでみよう

# KIDS' ハローワーク

都民のくらしを守るため、心身ともに逞しく

今回は地域のくらしを守る警視庁麻布警察署の地域課上妻和也巡査部長さんと交通課秋保みか妙佳巡査長さんを訪ねました。

憧れの白バイや婦人警官の制服を着てハトカーに乗車。鑑識官の指紋採取を体験と、大村響ちゃん、鈴木大智くんのジュニア編集員が取材に同行しました。

どんなお仕事をされていますか?

地域課の警察官は、交番に勤務し、地域の方と触れ合いながら、地域の安全を守ります。例えば、110番通報に応じたり、パトロールをしたりしています。そして、取り扱いが事件であれば刑事課に、交通事故であれば交通課に、と専門の課に引き継ぎます。

交通課の警察官は、交通整理や交通ルールの指導、交通事故の処理などを担当します。どんな仕事でもいろいろな方と接するので、コミュニ

ケーション能力は重要です。

どうすれば警察官になれますか?

まずは警察官になるための試験を受けます。試験には、学校で習ったことや一般常識に関する問題、作文や面接などがあります。その試験に合格して警察官に採用されると、警察学校に入ります。そこでは警察官の心構えや専門的なことを学びます。

都民を守ることが警視庁警察官の使命なので、専門的な勉強だけではなく、警察官としてのゆるぎない信念が必要です。心身を鍛えるために、柔道や剣道などもします。その後、警察署で経験を積んで、また警察学校に戻り、警察官の心構えと仕事を学んで一人前になっていきます。

職員採用情報: <http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/saiyou/moushikomi/guide.htm>

麻布の皆さんへ伝えたいメッセージを

麻布警察署には、地域課や交通課のように街頭で勤務している警察官のほかに、事件や防犯指導などを専門にしている警察官がいます。ひたたりや振り込め詐欺などには、お話を伺いながら親身になってアドバイスします。困ったことがあったら、気軽に相談にきてください。

響ちゃん:「白バイの服装はかっこいいけどすごく暑くて暑いので、大変だと思いました。」大智くん:「魔法の粉で指紋がとれたのがすごいと思った。」憧れだけではできない大変さをしっかり感じ取ったようです。

(取材/伊藤志織、大村公美子、大村 響、鈴木敏江、鈴木大智、石山恒子、文/石山恒子 伊藤志織)



(左上) 白バイの制服姿でしっかりポーズ!実はヘルメットが重くて大変でした。  
 (右上) 「前の車止まりなさい!」ルール違反の車に注意。車の中は見慣れぬボタンも気になります。  
 (右下) 鑑識の方が指紋の採り方を丁寧に指導してくださいました。鑑識官のキャップをかぶり、二人ともちゃんと採取できました。





コスタリカ共和国  
 面積：51,100 平方キロメートル（九州と四国を合わせたほどの広さ）  
 人口：約 450 万人（2007 年 世界銀行）  
 首都：サンホセ（北緯 10 度 標高 1,200 メートル）  
 民族：スペイン系及び先住民との混血 95%、アフリカ系 3%、先住民他 2%  
 言語：スペイン語  
 宗教：カトリック教（国教、但し信教の自由あり）  
 政体：共和制  
 元首：オスカル・アリアス・サンチェス大統領  
 （2006 年 5 月～2010 年 5 月、任期 4 年、8 年以上の間隔を置けば再選可能）  
 議会：一院制（57 名）（任期 4 年、連続再選禁止）  
 外務省ウェブサイト  
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/costarica/> より

取材協力／コスタリカ共和国大使館

コスタリカ共和国



して次に、美術館など教育・教養の質を高めるための設備に投資した。それはやがて国を豊かにすることにつながってゆく。大使のお話から、コスタリカの人々が個人の利益より、いかに人間の平等と平和を大切にしている国民性であるかがうかがえる。

環境保護に関しても人間らしさを基盤に自然に思いやりを持って接し、ニューズウィークで世界の「グリーンリーダー」として取り上げられている。国土の20%以上が自然保護区であり、世界の動植物種の5%が生息している。ウミガメ、クジラなどを保護し、鳥は約850種、蝶にいたっては約1,000種いると言われている。大使のお話によると、希少野生動物のジャガーが、北の隣国ニカラグアと南のパナマの両国を含めた三国を、行ったり来たり自由にできるように、特別の保護措置をとっているのだそうだ。

混乱の絶えない中米で、軍を廃止し、非武装中立国となったコスタリカ。人口や国土からみても決して大国とはいえないこの国が、経済、教育、環境等においても成功を収めている。中米諸国のみならず、世界が今コスタリカから学ぶべきことは多い。

（取材・文／加藤智恵、森 明）

## 麻布の"世界"から

### 人間性豊かな国民性と非軍備・自然保護の先進国

コスタリカ共和国は中南米に位置し、16世紀初頭にコロンブスがリモンに到着したことによって発見され、その後1848年に独立をした。

国旗は、空の青、平和を示す白、独立のために流した血の赤、そして中央に国章がある。国章の上に AMERICA CENTRAL（中央アメリカ）と書かれた青いリボンを配し、その下の白のリボンには「豊かな（リカ）海岸（コスタ）」の共和国 REPUBLICA DE COSTARICA と表記されている。国章の中央に3つの活火山と緑の自然が描かれ、その前に世界につながるカリブ海と大西洋、後ろに太平洋、その両洋にコーヒーや農産物を運ぶ帆船が浮んでいる。海から独立を示す太陽が顔をのぞかせ、空に7つ州を表す星が光り、左右にコーヒー豆が金色で描かれている。

この国旗と国章があますことなくコスタリカ共和国の歴史とその精神を象徴している。コスタリカ共和国は、経済、保健、教育、自然保護などの分野において世界各国が学びにくるほどの優等生なのだが、マリオ フェルナンデス シルバ特命全権大使のお話を総合すると、その根底にはヒューマン・ライツ（Human Rights）を大切に国が機能し、国民が生活していることがうかがわれる。

ヒューマン・ライツとは、ヒト（Homo Sapiens）をして人間（Human Being）たらしめている人間らしさ（Humanity）を大切にすることであろう。人間関係の調整をするにあたって言葉で議論をして、力を持って人と争わないことは人間しかできないことで、特に国と国との関係において外交のみによる問題解決は現実的になかなか難しい。

ところが、このヒューマン・ライツに基づいて1949年コスタリカ共和国は、世界中の国々に先駆けて常備国軍を廃止してしまった。かつ、1987年アリエス元大統領は中米和平への貢献でノーベル賞を受賞している。軍備に掛ける国家予算を、国民の健康と教育のために使い、コーヒーやバナナを輸出、そして近年では工業国として経済の発展を遂げてきた。

コスタリカは独立当初は大変貧しい国であった。その国が、そもそもなぜ「中米の優等生」と呼ばれるまでになったのか。当時の人々は必死で高品質のコーヒーを生産・販売することで収益を増やしたが、彼らはその収益を私利私欲のために使うのではなく、学校を設立して先生を招くことにつき込んだ。そ



- 1 写真を撮るなどご趣味豊かなマリオ フェルナンデス シルバ特命全権大使  
写真はコンテストで賞を獲得するほどの腕前
- 2 コスタリカビール
- 3 個性のある味を持つ、いろいろな種類のコーヒー豆
- 4 コーヒー豆を運ぶための伝統的な運搬車
- 5 訪日中の大使令嬢と共に

# Costa Rica

# Azabu-nista

麻布で働く外国人レポート



輸入卸、通訳、翻訳サービス業「Agenda」owner  
Melanie Brock

## 日本市場の高度な要求に応えていくことが何より楽しい。

仙台坂上の交差点の南側にオフィス構えるメラニー・ブロックさんは、株式会社アジェンダのオーナーです。母国オーストラリアをはじめ海外から幅広く食品の輸入を行うほか、海外企業が日本で展開するプロモーションのコンサルティングなど、海外と日本を結ぶ掛け橋として日々活躍されています。

社名の Agenda とは英語で“議題”という意味ですが、ひとつだけでなくいくつもの議題を扱う会社に発展するように、ロゴマークの“Agenda”の文字の下に3つの点が続いています。

メラニーさんが最初に日本に来たのは高校生の時。ロータリークラブの交換留学生として1年間青森で過ごしました。帰国後、故郷西オーストラリア、パースの大学で日本語を専攻、再び留学生として日本に戻って勉強し、通訳の仕事などを経て今の事業を手掛けることになりました。麻布エリアには、通訳をしていた企業の社宅に住んで以来14年間ずっと暮らしていて、「日本で一番好きな街」と断言されます。2人のお子さんの保育園時代からのママ友達とも今でもお付き合いが続いているようです。

このような経歴を持つメラニーさんですが、もともと留学先はヨーロッパを希望していたため、来日当初はかなり戸惑ったとのこと。それが今こうしてまだ日本に暮らし、仕事をしている話を聞くと、何か不思議な縁を感じます。

メラニーさんに日本のどこが好きかと尋ねたところ、食べ物が好き、美術が好きといったステレオタイプの答えは返ってきませんでした。しかし、仕事の話聞く中で、日本のビジネスが長期的に取引することを前提に成り立っていることや、ひいては双方の信頼関係が大切であることなど、日本スタイルに尊敬の念を抱いている印象を持ちました。日本人が大切にしている商習慣や日本の文化的なバックグラウンドを理解した上で海外企業に適切なアドバイスをしていることなど、本質的な部分で日本や日本人に共感を示してくれていることがよく伝わってきます。

六本木ヒルズは“シティー”、麻布十番は“ビレッジ”ね、と麻布十番への愛着を端的に、かつ適切な表現で語るメラニーさん。麻布十番は外国人が住みやすいように様々な配慮が行き届いた街なので、同様に昔ながらのお店も大切にしたいとのことでした。

(取材/高柳由紀子、福本綾子 文/福本綾子)



オフィスはショールームも兼ねる。母国オーストラリア製のワインビンナー、オリーブオイル、クッキーをはじめ、イギリス製の無添加、無着色のエナジードリンクなどが美しくディスプレイされている。通訳、翻訳サービスも手がけるメラニーさんは海外出張も多く、多忙な日々を送る。



## 地域社会のゆくえ

2

### 新しく誕生した巨大な自治会

麻布地区には歴史ある町会・自治会が40以上あります。その中で2004年に発足した「六本木ヒルズ自治会」は、最も若い自治会のひとつといえるでしょう。会員数は居住者と店舗・オフィスなどで働く人も含めると、何と1千以上になります。

「大きい自治会なので、住む人、働く人を結びつけるコミュニティ活動をより活性化させながら、ヒルズの魅力づくりに貢献していきたい」と副会長の仲江伯倫さんが話して下さいました。

そのためには、六本木ヒルズの統一管理者、森ビル(株)との連携も大事です。巨大な自治会をスムーズに動かすために、企業との協力は不可欠です。同時に港区や東京都などの行政や近隣町会との連絡も密にしながら、地元の一員として、各種団体の会合への参加も積極的に行っています。

### 自治会最大の目的「安全・安心な街づくり」

自治会のコミュニティ活動は多岐にわたりますが、特筆すべきは、本格的な「震災訓練」でしょう。毎年1月に実施される超高層建物での地震災害を想定した、大規模な避難・救助訓練です。災害

## 「六本木ヒルズ自治会」がめざすもの



写真/読売新聞東京本社提供

が起きた時「人が逃げ出すのではなく、人が逃げ込める街」を目指そうと、取り組んでいます。そのためにも、1人ひとりが繰り返し訓練に参加し、防災行動力を高めることが重要です。

住まいの隣近所、職場の同僚が誘い合って、1人でも多くの自治会員の参加を呼びかけています。

メニューは10種あり、①起震車体験 ②煙体験ハウス ③心肺蘇生術・AED ④応急手当法 ⑤消火器の使い方 ⑥救急搬送 ⑦ロープワーク ⑧震災戸井の説明 ⑨非常食試食体験 ⑩備蓄品の配布です。どれも自由に参加体験できます。

災害に遭った時、自分の身は自分で守る=自助、お隣同士が助けあう=共助、消防署や行政などによる=公助の全てが大切です。中でも一番大事なのは、有事の際「自分の身は自分で守る」ではないでしょうか。そのためにも、できるだけ多くの訓練を体験してほしいと用意されています。

「大勢の会員が訓練に参加し、体験してほしい

です。いざという時に、あなたも人を助ける立場になるかもしれない、という自覚を持っていただければ」と仲江さんは力説します。

### 六本木クリーンアップ

毎月第3土曜日の朝9時から、66プラザに続々と集まるのは、「六本木クリーンアップ」参加のボランティアのみなさんです。もちろん、自治会メンバー以外でも大歓迎。毎回130名以上参加し、六本木交差点を中心に周辺を4、5班に分かれての清掃活動です。他の清掃ボランティアとのコラボレーションも積極的に行い、地域貢献コミュニティ活動として、すっかり定着しています。

参加登録は、原則3日前一保険の都合上。自治会事務局まで連絡して、と呼びかけています。(連絡先 電話/03-6406-6383 事務局まで)

自治会の活動は、まだまだあります。今後はHPを立ち上げて、住民や働く人が年齢も国籍も関係なく集える場を、さらに広めたいとのこと。ますます目が離せない注目度が高い自治会です。

(取材・文/浅川一枝、高柳由紀子)



写真/森ビル(株)提供

# 続 麻布の軌跡 ◎ 旧麻布市兵衛町物語「偏奇館」

以前、麻布市兵衛町には宮様のお屋敷用地があり、その前向かいに吉田茂が使用した外務大臣公邸があり、さらにその斜向かいに俳優山形勲の実家の山形ホテル、少し離れて作家永井荷風の偏奇館があった。旧麻布市兵衛町、続きの物語である。

## 永井荷風の麻布市兵衛町 断腸亭日乗から

永井荷風(1879-1959)の断腸亭日乗(日記のこと)の中の自伝に、荷風(永井壮吉の号)は明治30年第一高等学校(東京大学の前身)の入試試験に落第した「その頃より予は好んで小説を作り始め…著作を公にする」と書き、他方「徒に文芸の遊戯に耽る日々であった。心配した父の配慮で、明治36年(1903)横浜をたち、カナダ、アメリカミシガン州で学び、明治38年ニューヨーク、横浜正金銀行で働く。明治40年(1907)フランスに行きパリ、イギリスを回り帰国する。明治43年(1910)森鷗外等の推薦で慶応義塾大学文学科の教授になる。大正5年(1916)職を辞し、※1 以後文筆で暮らす。昭和27年(1952)に文化勲章を受章する。

遷東綺譚等で有名な永井荷風は生涯自ら好んで下町を歩きまわり、特に浅草、銀座を好み、その街の趣から多くの作品のインスピレーションを得ていた。大正4年(1915)に「日和下駄一名東京散策記」を書いている。大正6年(1917)木挽町に、翌年築地路地裏などに住んでみたが、「路地裏のむさくろしさ、…不潔なること」※2 が荷風の好みに合わず下町の居住期間は短かった。



自画像 大正11年(1922)1月  
日本大学総合学術情報センター所蔵  
港区立郷土資料館 永井荷風 より転載

下町から山の手へと転居を試みて麻布市兵衛町にたどり着く。当時の市兵衛町の雰囲気荷風は書いている。霊南坂を登ると宮内省の御用地の空き地があり、その前の崖の向こうに赤坂の人家の先に山王氷川両社の森あり樹間遙かに四谷見附の老松を望める。黄葉の時節夕陽の眺望はみごとで、晩は霞がたち暮の紫色に周りがつつまれ人家の燈影が目を慰めてくれる。氷川の森の背後に殺風景な三連隊の兵舎が見えなければ東京市内の空地の中風光絶佳の處だと云っている。※3

麻布市兵衛町1-6の20坪、庭の狭い土地を借りる。西洋風の生活をするために家を建て、ペンキ塗りをもじって偏奇館と名付け隠棲をもくろみながら住んでいた。※4 その窓から向こう側の「崖上の高閣は灯火燦然として人影走馬灯に似たり」と書く。

その高閣は恐らく俳優山形勲の父が経営していた山形ホテルで、その窓ガラスに人影が映っていたようである。山形勲も幼少時ホテルの食堂で荷風を見たと言っている。※5 大正9年(1920)5月23日より昭和20年(1945)3月10日未明の偏奇館焼失まで、そこでの生活は26年に及んでいる。

「わが庵は古本紙屑虫の聲」  
昭和18年(1943)11月に荷風は句を詠んでいる。※6 家に籠り、漢書からプレスト等までの万卷の蔵書に囲まれ、書きそこなえば紙くずの原稿用紙、秋の虫の声を友とする生活、まさに隠遁生活の実体が読み取れる。

### 偏奇館焼亡

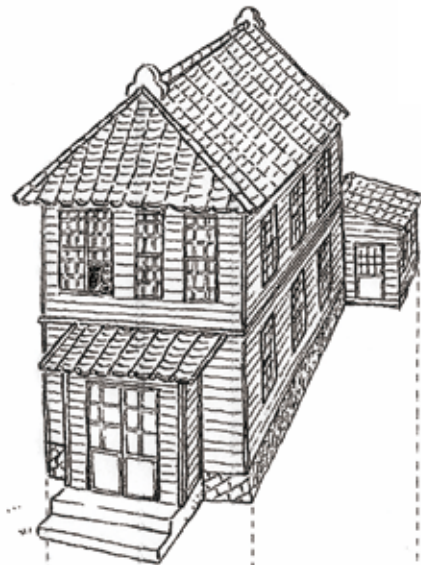
昭和16年(1941)12月8日「日米開戦の号外出づ」  
※7 と日乗に書いている。

昭和20年(1945)3月10日午前4時、戦争が終りを迎える5ヶ月前、荷風が大切にしていた偏奇館が空襲にて焼亡する。

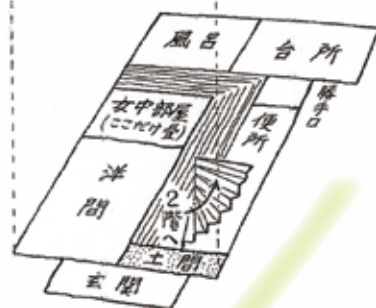
荷風はいずれ戦災で燃えると覚悟していたのであろうか、日

谷崎潤一郎から贈られた印鑑

印鑑と家図面  
永井永光著 父 荷風 (株)白水社 より転載



麻布偏奇館と一階間取り



乗にいわく、「余は枕元の窓火光を受けてあかるくなり隣人の叫ぶ声のただならぬに驚き日誌及び草稿を入れたる手革包を提げて庭に出たり。谷町辺にも火の手の上がるを見る。」荷風は到底禍を逃れられないと知り、「偏奇館の焼倒るるさまを眺め」ようと火を避けながら霊南坂上からスペイン大使館側空き地近くまで行くが見えず、「唯火焰の更に一段烈しく空に上がるを見たるのみ。これ偏奇館楼上少なからぬ蔵書の一時に燃えるがためと知られたり」。※8

翌日の3月11日従弟の子、灰の中より谷崎潤一郎から贈られた印鑑、父愛用の茶碗などを蔵書の灰の下から掘り出す。「罹災の紀念これに如くべきものなし」。※9 と日乗に書いている。この印鑑には後日譚がある。この印鑑、長さ5.8センチ、押捺部分1.7センチ×1.4センチで断腸亭と彫ってあるそうです。指で持つ部分に「永井荷風先生/恵存/谷崎潤一郎敬贈」と陰刻してあり上部に狛犬の彫刻がのっている。後に荷風全集が出版された時に荷風の養子となった従弟の次男永光の妻の手によって後に荷風全集を出版された時にその奥付に一冊ごとにその印鑑が押された。※10

偏奇館が焼失した4年後、昭和24年(1949)10月に市兵衛町を荷風は訪れている。「旧宅の跡は日本家屋普請中にて大工2、3人の姿も見えたり。」「東久邇の宮邸内の家屋は焼失したけれど門前路傍の老桜は枯れずに残りたり。」をみて新橋を経て銀座の夜に消えた。※11

荷風はいつもの様に帽子をかぶり、杖の代わりに蝙蝠傘をついていた。

- ※1 永井荷風 断腸亭日乗(上) p131-132 岩波書店
- ※2 永井荷風 前掲書(上) p31
- ※3 永井壮吉 偏奇館漫録 p110 荷風全集第十五巻 岩波書店
- ※4 永井荷風 前掲書(上) p37
- 永井壮吉 前掲書 p85 荷風全集第十五巻
- 永井壮吉 前掲書 p85 荷風全集第十五巻
- 永井荷風 前掲書(上) p247
- 川本三郎 荷風好日 piii 岩波書店
- ※6 永井壮吉 偏奇館吟草 p481 荷風全集第十一巻
- ※7 永井荷風 断腸亭日乗(下) p158 岩波書店
- ※8 永井荷風 前掲書(下) p252-254
- ※9 永井荷風 前掲書(下) p256
- ※10 永井永光 父 荷風 p72-74 白水社
- ※11 永井荷風 前掲書(下) p334

本文中ルビ 編集部付記。(ママ)のルビは原文のままであることを示す。文中敬称省略

(取材/石山恒子、西野さつき、橋本明子 文/森 明 タイトル/高橋 光)




港区立郷土資料館編  
港区近代沿革図集麻布・六本木所収 昭和51年  
地図内赤丸印 編集部記入



# Living in AZABU

## 秋の麻布。

“あ! 赤とんぼ!!” “うわぁ~彼岸花!!” ーと  
毎年なんだけれど、おどろいてしまう。  
まるで、どこか遠い田園地帯にでもワープしたみたい。

大好きな公園へ行ったり、  
たくさんの標本を読みふけり、秋の夜長、  
おいし〜い秋の味覚もあるし、  
すてきなあの方の素晴らしい音楽にもう、とりこ♡  
ウチのかわいい  この子と、すごしたり。

あ〜、たくさんの秋の楽しみがやってくる!!

麻布 五川の水  
Sept. 09.

(イラストレーション・文/湊 早苗)

### 「あざぶ達人倶楽部」(秋季初級講座)の参加者を募集します!

今年7月、麻布地区総合支所では「あざぶ達人倶楽部」をスタートしました。これは麻布地区の魅力をもっと高めていく活動を担える人材を応援・発掘していく取り組みです。

今年度は初級講座として、夏季と秋季に各1回ずつ実施し、麻布に関わる歴史、特色、まちの様子などを「座学」や「歩学」などを通じて、学んでいただきます。(講座修了者には認定証をお渡しします。)将来的には、麻布地域を愛し、地域のために汗を流せる「麻布の達人」となられた方々が、麻布をより魅力的にするための自主的な活動を展開できるようめざしていきます。なお、来年度以降は、初級講座修了者に対し、中級・上級へとステップアップしていくコースを予定しています。

このたび、10月から開催する秋季初級講座の参加者を募集しますので、是非お申し込みください。

**対象:** 20歳以上で、麻布地区に興味のある方  
(在住・在勤・在学を問いません)

**会場:** 麻布地区総合支所ほか

**定員:** 30人(抽せん)

※一時保育も行います。(定員制・申し込み時にお申し出ください)

**参加費:** 無料(ウォッチングでの飲食は各自負担)

**お申し込み**

往復はがきに、郵便番号・住所・氏名(以上は返信用にも明記)と連絡先電話番号を明記し、9月30日(水・必着)までに、〒106-8515

港区麻布地区総合支所協働推進課地区政策係へ。  
※郵便番号だけで届きます。

**お問い合わせ/麻布地区総合支所  
協働推進課地区政策係  
電話/03-5114-8812**

**「あざぶ達人倶楽部」  
秋季・初級講座プログラム(全6回)**

※プログラム内容は変更される場合があります。

	開催日時	講座内容
第1回	10月21日(水) 【座学】 午後6:30~8:30	◆始業式 オリエンテーション ◆講演 「麻布地区のおいたち」 (港郷土資料館学芸員)
第2回	10月31日(土) 【歩学】 第1部 午前9:30~正午 第2部 午後1:30~4:00	◆六本木ウォッチング① ※第1部と第2部は 同じ内容です。
第3回	11月4日(水) 【座学】 午後6:30~8:30	◆まち人ディスカッション 「六本木のいま、そして未来」
第4回	11月14日(土) 【歩学】 第1部 午前9:30~正午 第2部 午後1:30~4:00	◆六本木ウォッチング② ※第1部と第2部は 同じ内容です。
第5回	11月18日(水) 【座学】 午後6:30~8:30	◆スライドショー 「昭和の麻布」 ◆参加者わいわい懇談会
第6回	12月2日(水) 【座学】 午後6:30~8:30	◆修了式 ◆あざぶ達人倶楽部 初級認定証授与 ◆講演 (麻布ゆかりの著名人を予定)

### 「麻布フェスタ2009」を開催します!

麻布区民センター  
「ふれあいまつり」  
同日開催

今年のテーマは「ふれあいとやさしさでつなぐ麻布のきずな~広げよう安全・安心の輪~」です。南山小学校ジャズバンドの演奏をはじめ、商店会の模擬店など楽しいイベントが盛りだくさんです! カリブ地方の大使館の協力による催しもあります。また、麻布の「体験」と「発見」をテーマにまちあるきを開催します。いつもは気付かなかった、新しい麻布の一面を発見してみませんか。

**お誘いあわせのうえご参加ください!**

※詳細については、「広報みなと」10月1日号に掲載します。

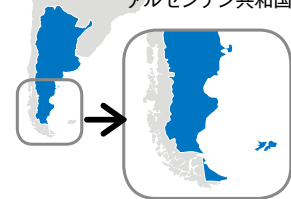
**日程/**平成21年10月25日(日) 午前10:30~午後3:00

**会場/**麻布地区総合支所、麻布保育園園庭、南山小学校体育館・校庭ほか

**お問い合わせ/  
麻布地区総合支所管理課調整係  
電話/03-5114-8811**

麻布地域情報紙「ザ・AZABU」第10号の記事に誤りがありました。お詫びして訂正します。

【訂正箇所】4ページ「麻布の“世界”から」のアルゼンチン共和国の地図



正しくは、南端のフェゴ島は西の一部を除いてアルゼンチンです。また、西側のマルビーナス諸島もアルゼンチンです。

## 読者の皆さん、ご意見ください。

本紙記事の感想や取り上げてもらいたい情報など、何なりとお寄せください。より魅力的な紙面にするための参考にさせていただきます。



ご意見をお寄せいただいた方に麻布オリジナルグッズ「旧町名手ぬぐい」プレゼント!

「ザ・AZABU」では読者の皆様からのご意見・ご感想を募集しています。

ご住所・氏名・年齢・職業をご記入の上、下記までご応募ください。

●電話で.....03-5114-8812(月~金/午前8:30~午後5:00)

●ファックスで.....03-3583-3782

●郵送で.....〒106-8515 港区六本木5-16-45 麻布地区総合支所「ザ・AZABU」編集室宛



# 麻布地区 総合支所だより

## 港都税事務所からの お知らせ

### 9月は固定資産税・都市計画 税第2期分の納期です。 (23区内)

6月にお送りした納付書により、  
**9月30日(水)までにお納めください。**

#### ご利用になれる納付方法

- 金融機関・郵便局・都税事務所・都税支所・支庁の窓口
  - 一部、都税の取扱いをしていない金融機関があります。
- 口座振替
- コンビニエンスストア(納付書1枚あたりの合計金額が30万円までのものに限りです。)

#### <利用可能なコンビニエンスストア>

エーエム・ピーエム くらしハウス ココストア コミュニティストア サークルK サンクス スリーエイト スリーエフ 生活家 セブン-イレブン デイリーヤマザキ ファミリーマート ポプラ ミニストップ ヤマザキデイリーストア ローソン (50音順)

- 金融機関・郵便局のペイジー対応のATM、インターネットバンキング、モバイルバンキング
  - 一部、都税の取扱いをしていない金融機関があります。
  - ペイジーマークの入っている都税の納付書に限りです。
  - 領収証書は発行されません。(領収証書が必要な方は、金融機関等の窓口またはコンビニエンスストアをご利用ください。)
  - 新規にインターネットバンキングやモバイルバンキングで納付する方は、事前に金融機関への利用申込みが必要です。
  - 保守点検作業のため、ご利用できない期間があります。詳しくは、主税局ホームページ(<http://www.tax.metro.tokyo.jp/>)をご覧ください。

**お問い合わせ/港都税事務所**  
電話/03-3453-3211(代)

## 総合支所からの お知らせ

### 平成21年度港区総合防災訓練 (麻布会場)にご参加ください!

#### どなたでも参加できます

大地震が発生したとき、区民の皆さんが自らの生命を守り、自分たちのまちは自分たちで守るために、麻布地区総合支所では麻布消防署、麻布警察署などの関係機関と協力して、港区総合防災訓練(麻布会場)を開催します。

今後30年以内に南関東で直下型大規模地震が発生する確率は70%とされています(地震調査研究推進本部が発表)。大地震に備えて、地域の皆さんがお互いに声を掛け合い、総合防災訓練に積極的に参加しましょう。参加者には記念品を差し上げます。

**日時/平成21年10月4日(日)**  
午前9:30~11:30(雨天中止)

※午前9:30までに会場にお越しください。

## 固定資産税・都市計画税の納付には、 安心便利な口座振替を ご利用ください。

お申し込みは、口座振替を開始しようとする月の前月の10日までに、預(貯)金通帳、通帳届出印、納税通知書をご持参のうえ、金融機関または郵便局の窓口へお願いいたします。

(平成21年11月10日(火)までにお申し込みいただくと、12月の第3期分から口座振替をご利用いただけます。)

**お問い合わせ/主税局徴収部**  
納税推進課口座振替係  
電話/03-5912-7520

## 麻布消防署からの お知らせ

### 台風などの災害に備えよう!!

台風が発生しやすい時期を迎えます。近年の集中豪雨による低地の道路冠水や中小河川の増水は、皆さんの予想を超える速さで襲ってきますが、気象災害は事前の予測が可能です。普段から付近の危険箇所等を確認しておき、テレビ、ラジオ等で流される気象情報に十分注意するとともに、避難場所や連絡方法、非常持出品などについて家族全員で話し合い、十分な対策を立てておくことが大切です。



#### 身を守るためのポイント

- 排水溝等の詰まりは取り除いておきましょう。
- 地下階への浸水に備えましょう。
- 避難場所と持ち出し品を確認しておきましょう。
- テレビ、ラジオ放送などをよく注意して聞きましょう。
- 避難する時は火の元、戸締まりを確認し、ブレーカーを切りましょう。
- 水の流れのあるところを避けて通らしましょう。

**お問い合わせ/麻布消防署防火管理係**  
電話/03-3470-0119

つけましたか? 住宅用火災警報器



**会場/港区立六本木中学校(六本木6-8-16)**



#### 申し込み/

- 事業所等団体での参加を希望する場合は、事前に参加人数をご連絡ください。
- 個人での参加を希望する方は、お申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

**お申し込み・お問い合わせ/麻布地区総合支所協働推進課活動推進係**  
電話/03-5114-8802

## 麻布警察署からの お知らせ

### ひったくり被害に遭わないために!

- バッグは建物側に持って歩きましょう。
- 自転車の前かごには、ひったくり防止ネットを付けましょう。
- 後方からのバイクが近づいてきたら注意しましょう。
- 帰宅時は、明るく人通りの多い道を通りましょう。
- 歩きながらの携帯電話やメールは控えましょう。また、
- 「ナンバー無し」「ナンバーを跳ね上げた」バイクの目撃
- 友人・知人からひったくり犯人に関する話を聞いた
- 夜間だけ走行しているなど、不審なバイクが近所にあるなどの不審バイクに関する情報提供をお願いします。



犯罪のない安全で安心なまちづくりにご協力をお願いします。

**お問い合わせ/麻布警察署**  
犯罪防止対策推進事務局防犯係  
電話/03-3479-0110(内線2612)

## オウム真理教による犯罪行為により被害を受けた方、 ご遺族に給付金が支給されます。

**申請期間/平成20年12月18日(木)から2年間**  
やむを得ない理由により、この期間内に申請することができなかったときは、その理由のやんだ日から6月以内に限り申請することができます。

次の方が給付金の支給の対象となります。

オウム真理教による犯罪行為(地下鉄サリン事件、松本サリン事件その他法律で定められた事件に限り)により

- 亡くられた方のご遺族
- 障害が残った方  
(既に亡くなられている場合、そのご遺族)
- 傷病を負った方  
(既に亡くなられている場合、そのご遺族)

**お問い合わせ/麻布警察署**  
犯罪被害者支援係  
電話/03-3479-0110(内線2133)

#### 犯罪被害者ホットライン

もう一度 あなたの笑顔を見たいから!  
電話/03-3597-7830  
午前8:30~午後5:15(土・日曜、祝日を除く)

## 全国地域安全運動のお知らせ

今年も10月11日(日)~20日(火)の間、全国地域安全運動が実施されます。昨年は10月11日(土)に、「防犯のつどい」(島山みどりさん出演)を実施しました。今年の内容については、決定次第お知らせします。ぜひお越しください。

**お問い合わせ/麻布警察署**  
電話/03-3479-0110(代)

## 麻布区民センター「ふれあいまつり」

今年も第22回目の「ふれあいまつり」です。地域の皆さんが出会い、繋がり、コミュニケーションできる場所を提供します。お楽しみに!

**日時/平成21年10月24・25日(土・日)**  
午前10:00~午後5:00

**会場/麻布区民センター※駐車場はありません**  
**内容/舞台演技、展示発表、体験コーナーほか**  
**主催/ふれあいまつり実行委員会**

**お問い合わせ/麻布区民センター**  
電話/03-3583-5487

## AZABU

● 配布箇所案内  
六本木1丁目、六本木、広尾、麻布十番の各地下鉄の駅、ちいばす車内、みなと図書館、麻布図書サービスセンター、麻布福祉会館、西麻布福祉会館、飯倉福祉会館、本村福祉会館、大平台みなと荘、麻布区民センター、麻布地区総合支所等

● 本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

- Chief 尾崎恭彦  
Sub Chief 伊東みゆき  
Staff 浅川一枝 鈴木敏江 福本綾子  
石山恒子 高橋光 湊早苗  
伊藤志織 高柳由紀子 森明  
大村公美子 西野さつき 山下良蔵  
加藤智恵 橋本明子  
Junior Staff 石山茜 鈴木大智  
大村響

港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。

## 編集後記

この夏は忙しすぎて休みもなく、行ったお祭りは三河台公園の盆踊りのみ。ミッドタウンの夜景を背負い都会の狭間と思いきや、地元の方達手作りの懐かしいにお祭りがあった。都会遊びの街六本木に根づくコミュニティは案外と下町人情っぽくて、今はあまり聞かないけれど「向こう三軒両隣」という言葉を思い出した。さてさて「AZABU」編集部が10月の「麻布フェスタ2009」に参加決定。どうぞ期待!

(伊東みゆき)

## 「みなとコール」は暮らしの疑問にまとめてお答えします!

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽にお問い合わせください。  
年中無休/午前7:00~午後11:00 ※英語での対応もいたします。

電話/03-5472-3710 FAX/03-5777-8752  
Eメール/info@minato.call-center.jp

“Minato Call” information service  
Minato call is a new city information service, available in English every day from 7 a.m. - 11 p.m.  
Minato Call: Tel: 03-5472-3710; Fax: 03-5777-8752; E-mail: info@minato.call-center.jp